

発言No. 9

受付No. 14

令和4年6月7日

10時 4分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、歴史をいかしたまちづくりの推進について

- ① 浜田市にある歴史関係の古文書、歴史史料など、市が郷土資料館、図書館などで保存しているこれらの史料などについて、どの程度、整理が進み、目録化、調査や報告が行われ、市民への公開などが進んでいるのか、全体の状況とその後の進捗状況はどうか。
- ② 郷土資料館の見学会が実施されるが、現在の郷土資料館を見学するだけで十分か。市全体の歴史史料の状況の説明、郷土資料館整備後にはどのように公開するのかなど、これからを見通した市の考え方を前面に出した見学会とすることが必要ではないか。

2、協働のまちづくり推進に向けた態勢づくりについて

- ① まちづくり推進委員会と連合自治会、自治会とを統合する動きが広がっているが、どのような状況にあるのか、市としてどのように掌握しているのか。
- ② 地域の自治活動、協働のまちづくりで最も重要な住民の安全安心づくりである防災訓練について、市全体でどの程度の参加があったのか、その組織数、全体に対する割合などはどうか。

3、専修学校などへの支援態勢について

- ① リハビリテーションカレッジ、看護学校などに対し、運営費補助、修学資金貸与制度などにより支援が行われているが、学校側と協力してこれからの学生数増加に向け、市でなければできないような、支援態勢をつくる必要があるのではないか。
- ② 松江市では、専修学校5校に対し、総額1000万円余の運営補助により支援しているが、リハビリテーションカレッジ、看護学校などに比べ、浜田市にあるビューティーカレッジへの支援はどうするのか。

4、学校給食の公会計化の推進状況について

- ① すべての行政経費は予算に計上するという「総計予算主義」の大原則から、学校給食費の公会計化は避けて通れない問題であると、教育委員会は認識しているが、その後、現状どのような準備状況、検討状況になっているのか。
- ② 教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上に加えて、学校給食費の徴収・管理業務の効率化を進める観点からも公会計化は必要であるが、どのように認識しているのか。

5、職員力を発揮させる執行体制の確立について

- ① 近年、若年退職者が増えているが、この原因をどのようにとらえているのか。それに対して、どのような働きやすい魅力ある職場づくりを進めているのか。
- ② かつてのシングルペアレント事業など、職員発の新規事業の提案など、職員力の高さがあったが、この先、職員の政策立案力を高める、職員の政策立案への参画などどう進める考えか。